



箱根駅伝 一次の100年に向けてー、全日本大学駅伝大会結果



第101回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会 結果

2025年1月2日～3日開催の第101回東京箱根間往復大学駅伝競走(通称:箱根駅伝)への出場校を決める予選会が2024年10月19日(土)、東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地から国営昭和記念公園までのハーフマラソン(21・0975キロ)のコースで行われ、43チームが出場しました。最多記録の更新を目指す中央大学は、上位10名の合計タイムが10時間56分03秒で6位となり、10校に与えられる本戦出場権を獲得しました。

藤原正和監督コメント

第101回箱根駅伝への出場権をかけ、3大会ぶりに予選会からのスタートとなりました。主力を数名欠く中、1年生を5名起用し経験を踏ませつつ、上級生にしっかりとまとめてもらい1位通過を目標に戦いました。結果としては6位で予選会通過となりましたが、1位通過を目標に掲げていた中では消化不良な結果でした。内容を振り返ってみますと、白川陽大・岡田開成は日本人先頭集団で奮起し、エース不在のチームを力強く牽引してくれました。また阿部陽樹・原田望睦・佐藤大介も全体50位以内でゴールし想定通りに活躍してくれました。後半上げて来てくれた鈴木耕太郎・並川颯太も及第点の走りであったと思います。

第101回東京箱根間往復大学駅伝競走

- 東京・読売新聞社前～箱根芦ノ湖間往路5区間(107.5km)、復路5区間(109.6km)の合計10区間(217.1km)で競う
- 往路:2025年1月2日(木) 復路:2025年1月3日(金) (往路、復路とも午前8:00スタート)

順位	大学名	総合成績
1	立教大学	10:52:36
2	専修大学	10:53:39
3	山梨学院大学	10:54:06
4	日本体育大学	10:55:58
5	中央学院大学	10:56:01
6	中央大学	10:56:03
7	日本大学	10:56:53
8	東京国際大学	10:58:53
9	神奈川大学	10:59:12
10	順天堂大学	11:01:25

着順	選手名(学部・学年)	記録
17	白川 陽大(文3)	1:03:58
24	岡田 開成(法1)	1:04:28
36	阿部 陽樹(文4)	1:04:58
40	原田 望睦(文1)	1:05:01
47	佐藤 大介(文1)	1:05:09
103	鈴木 耕太郎(法2)	1:05:55
126	並川 颯太(法1)	1:06:12
133	山平 怜生(法4)	1:06:22
139	吉中 祐太(文3)	1:06:26
218	伊東 夢翔(経3)	1:07:34
259	佐野 拓実(経4)	1:08:24
324	七枝 直(法1)	1:09:50

しかし、第1グループにいた山平怜生と吉中祐太が後半大きく失速し2人で想定より2分遅れました。また学内10番目だった伊東夢翔はなんとか踏ん張りましたが想定より遅れが大きく1人で2分遅れました。たればになりますがこの合計4分の失速がなければ1位通過であっただけに非常に悔しい内容でした。予選会という舞台の独特の緊張感やどこかで「通過できるだろう」という油断があったのではないかと思います。6位での通過とはなりましたが、箱根路での挑戦権を得たことに変わりはありません。前回大会の悔しさを晴らせるよう全員駅伝で戦って参ります。

秩父宮賜杯第56回全日本大学駅伝対校選手権大会 結果

2024年11月3日(日)、秩父宮賜杯 第56回全日本大学駅伝対校選手権大会が、名古屋・熱田神宮～伊勢神宮内宮宇治橋前(8区間/106.8km)で開催されました。4大会連続31回目の出場となった中央大学は5時間19分49秒で12位となりました。全国8地区の代表25校、オープン参加の日本学連選抜チームおよび東海学連選抜チームの全27チームが大学駅伝日本一を目指すこの大会。「新紅の挑戦」をスローガンとして練習を積み重ねてきた本学の選手達が秋の伊勢路を駆け抜けました。

藤原正和監督コメント

箱根駅伝予選会から2週間というスパンで全日本大学駅伝を戦うにあたり、フレッシュな選手をできるだけ多く準備し確実に3強と戦うことを目指し区間の配置を行いました。1区の溜池一太は故障明けでしたので無理はさせず先頭から10～15秒での襷渡しと考えていましたが、13秒差ときっちり仕事をしてくれました。2区の岡田開成は1年生らしい攻めた走りで上位戦線での戦いに望みをつないでくれました。3区の本間颯、4区の浦田優斗、5区の東海林宏一の3区間で徐々に後退しシード権争いに

順位	大学名	総合成績	区間	距離	選手名(学部・学年)	記録
1	國學院大學	5:09:56	1区	9.5km	溜池 一太(文3)	28:31 区間20位
2	駒澤大学	5:10:24	2区	11.1km	岡田 開成(法1)	31:53 区間 6位
3	青山学院大学	5:10:41	3区	11.9km	本間 颯(経2)	34:31 区間 6位
4	創価大学	5:13:17	4区	11.8km	浦田 優斗(経4)	35:03 区間13位
5	早稲田大学	5:14:24	5区	12.4km	東海林 宏一(経4)	37:10 区間 9位
6	城西大学	5:14:57	6区	12.8km	佐藤 大介(文1)	38:11 区間 7位
7	立教大学	5:16:21	7区	17.6km	吉居 駿恭(法3)	53:22 区間14位
8	帝京大学	5:16:24	8区	19.7km	阿部 陽樹(文4)	1:01:08 区間18位
9	東京国際大学	5:17:46				
10	日本体育大学	5:17:52				
11	大東文化大学	5:18:08				
12	中央大学	5:19:49				

巻き込まれてしまいました。1人10秒～20秒の踏ん張り・我慢があれば展開も変わり5位争いに落ち着いていたので、この3区間での後手は悔やめます。6区の佐藤大介は1年生ながら踏ん張り8位でエースの吉居に襷を渡しました。しかし、7区吉居駿恭、8区阿部陽樹が2人揃って大ブレーキと全く駅伝をさせてもらえませんでした。12位という結果ですが、これを悔しいだけで終わらせないよう学生と知恵を出し合い、箱根までに挽回致します。

